



緊急企画

みんなで乗り越えよう、
我がクラブのコロナ対策



NPO法人Tap ＜新潟県津南町＞



世界中で甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症による影響は計り知れません。クラブが受ける影響も大きく、各クラブで試行錯誤している状況にあります。少しでも全国のクラブの力となるよう、今回は、NPO法人Tapの新型コロナウイルス感染症対策の取り組みを紹介いたします。



1 現在のクラブ状況

4月から全世代の活動休止 事務局は試験的にテレワーク

Tapは新潟県の中でも豪雪地である津南町（人口9,300人）を拠点に「つながり」を大切にした活動を展開しています。各種教室やイベントの開催、行政からの社会体育事業や健康づくり事業の受託、町健康増進施設の指定管理も担っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で3月から子どもたちと高齢者を対象にした事業が休止となり、4月から現在（5月）までは町内にある施設の休止に伴い全世代の活動が休止となっています。再開のめどは未だ立っていない状況です。

事務局機能にも変化があり、4月下旬からは緊急事態宣言が全国に拡大したことにより、ローテーション勤務の実施や今後を見据えて試験的にテレワークにも取り組んでいます。

「今できることをまずやる！やることで気づきがある！」

新型コロナウイルスは今までできていた生活に制限がかかり、子どもたちは学校に行けないことで友だちに会えず、思い切り遊ぶこともできていません。また高齢者は健康づくりのために参加していた教室等が休止となり、運動ができず生活範囲も狭まっています。どの世代でも心身への影響があり、Tapとして何ができるのかを考え、対策に取り組んでいます。

■高齢者には自宅対応のチラシを配布

高齢者の生活の質を維持するためTapから行政へ提案し、自宅でできる軽度な体操や脳刺激などをまとめたチラシを作成し、指導者が参加者へ届け、合わせて様子を見に行きました。休止が長引くことで、現在までに3回チラシを発行しています。4月には手渡しも自粛することになり、郵送への切り替え等やることが限られましたが、その後は参加者へ電話連絡を実施しました。

■子どもには「けん玉」を寄贈 SNSで動画も配信

自宅でも挑戦できるよう、教室参加の子どもたちに「けん玉」を贈りました。計42個を寄贈しましたが、その費用は子ども事業の参加料収入から捻出しました。また、SNSで遊びの動画を配信したり、町広報紙で昔遊びの紹介や学校を通じて親子遊びのチラシを配布したりしました。

●実施後の対象者反響

高齢者は「励みになる」 子どもたちからは喜びの声も

高齢者には、実施した運動を記録できるように自作のカレンダーをチラシと一緒に配布しました。参加者からは、「チラシを目にすることで、やろうという気持ちが芽生える」「カレンダーがあると記録ができて、励みになる」「脳刺激を夫婦で取り組み、会話が増えた」などの声が届いています。一方で、「以前より膝や腰が痛くなった」「出かける機会が減って、話すことも少なくなった」など心身に影響が出ている方もいます。

子どもたちは「家でけん玉にチャレンジして、できるようになった」「動画を自宅で見ながら画面に映るスタッフと遊んだ」との喜びの声が聞かれます。

●実施後の事務局側の声

参加者の心身の不安を痛感 日々変わる感染状況に対応変更迫られる

「参加者のためにできることをやろう」という気持ちが芽生え、十分とは言えませんが少しでも運動等に取り組んでもらえるような対応をしています。ただ、各教室が休止していることで参加者の運動機能や心の健康状態が低下していることも痛感しています。

また、新型コロナウイルス対策は日々状況が変わるため、昨日まで進めていたことが今日になって方向転換することもあり、対応を変えなければならない大変さがあります。他にも、指導者への報酬支払いが減少(クラブ側からの補てん無し)する事業もあり、教室再開時にスムーズに運営ができるのかという不安を抱えています。

3

事業再開に向けガイドライン作成へ

手軽なウォーキングを採用へ 子どもにはスタッフが「遊び」を提案予定

スポーツや健康づくり事業は集団での活動が多い中、活動が制限されてしまいますが、感染症対策を徹底しながら各種事業が再開できるようにガイドラインを作成する予定です。

また、少人数でのウォーキングは可能であるため、自宅付近で手軽に歩けるように集落単位で住民と一緒にウォーキングコースの新設を目指します。併せてポールウォーキングを推奨することで安全に健康づくりに取り組んでもらえるようなきっかけをつくり、将来的には新しいウォーキング事業を展開することも視野に入れています。

子どもたちの活動もすぐに再開できないことが予想されます。学校の昼休みにTapスタッフが遊びの提案をして、自宅でも親子でできるようなきっかけづくりに取り組みます。

(NPO法人Tap 事務局長兼マネジャー 江村 大輔)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成25年2月28日(同年3月26日NPO法人登記)

所在地 新潟県津南町

特徴 「つながりで人づくりとまちづくり、健康づくりに取り組みます」を理念に、人と人とのつながりを大切に、子どもから高齢者までの全世代が心身ともに豊かに生活できるような取り組みをしています。名前の由来は、Tsunan all people(津南でつながるすべての人)の頭文字と「何かあれば協力するよ」と肩をたたく(タップする)という意味が込められています。雪を活用した「豪雪地面出し競争」など、地域の魅力を発信する活動もしています。

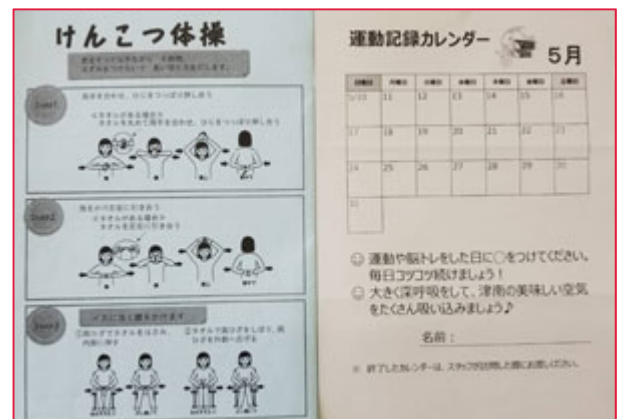
連絡先 〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡丁1633番地1
TEL 025-765-5776 FAX 025-765-3596
URL <https://www.facebook.com/npotap5776/> (Facebook)
E-Mail tap@poplar.ocn.ne.jp



住民といっしょに集落単位でウォーキングコースの新設を目指している。今できることを実践する毎日である。



学校を通じて小学生向けに自宅でできるあそびを提案。
(「スポーツの得意な子に育つ親子遊び」より引用)



高齢者向け事業参加者へのチラシ。自宅できるように体操の紹介と運動記録カレンダーを配布して運動習慣の継続を促している。